

李 旅游局長と交流拡大へ意見交換 二階幹事長の訪中に同行した田川会長

JATAの田川博己会長と越智良典事務局長は5月12日から15日までの4日間、北京で開催された「二帯一路」国際協力ハイレベルフォーラムに政府代表として参加した自民党二階俊博幹事長に同行し中国を訪問しました。

12日の唐家璇・中日友好協会会長との夕食会に続いて開かれた13日の李金早・中国国家旅游局長との朝食会では、李局長が「二階幹事長は友人であり、観光交流は最も重要な分野」と語ったのに対し、二階幹事長は「波の高い時も穏やかな時も友好を大

切にしなければならず、しばしば顔を合わせる事が大事だ」と応じました。

朝食会に出席した田川会長は、JATAなど観光関連3団体が昨年5月に3000人を超える日中観光文化交流団として訪中した際の歓迎への謝意を

表明。「日中関係が困難な時も二階先生のリーダーシップのもとで、旅行業界は大型交流に協力してきた」と強調、「観光を通じて相互理解を促進し、地域を豊かにして平和を実現したい」と語っています。また、田川会長は「昨年北京で開催された国連

世界観光機関(UNWTO)による世界観光会議に参加したのに続き、今年秋に北京で開催が予定されているUNWTO総会にも出席したい」と考えを示し、「日中でリーダーシップを發揮し、スポーツ交流など日中間交流の大切さを訴えて、日本と中国が記念の年を迎える今年と来年の交流を盛んにしよう」と呼びかけました。



李金早局長（中央右）と懇談する二階俊博幹事長（中央左）、田川会長など

李局長は「3000人の交流団に



李旅游局長（右）と握手する田川会長

よる訪中が日中両国の新しいページを開いた」と高く評価。日中両国の関係について「衣帯水で2000年余りにわたって平和と友好が両国人民の心の主旋律である」などと語った習近平国家主席による日中友好交流大会での講演が「両国のこれからの道

魅せるフランスシフェスタに8600人 観光需要の早期回復めざし東京で開催

JATAは6月2日と3日の両日、東京丸の内KITTE地下1階にある東京シテイアイパフォーマンスゾーンで「魅せるフランスシフェスタ」映画に学ぶフランス旅行の楽しみ方」を開催しました。

同フェスタは、2015年11月にパリで発生したテロ事件以降、日本人旅行者数の伸び悩み傾向が続いているフランスへの観光需要の早期回復を目指すとともに、このイベントを通じた旅行相談や旅行商品の販売などによる新規顧客開拓へとつなげることを目的とするものです。

「映画に学ぶフランス旅行の楽しみ方トークショー」や「フランスを舞台にしたスクリーンミュージックライブ」「出展者プレゼンテーション」「ワイン販売」なども実施された同フェスタへの来場者は、2日間で8600人を数えました。

トークショーでは、多くのフランスを舞台にした映画作品の中に詰め込まれた食やアート、観光名所などについて、映画研究家や

を示した」と指摘、「記念年の交流を事務レベルの協力のもとに進めたい」と表明しました。また、李局長は「二階先生の努力で民間交流が促進されてきたことに敬意を表す」と語る一方、「大阪万博の当選を支持したい」とも述べています。

フランスシフェスタアーティスト、キュレーターなどフランスと映画が大好きな専門家らが、フランス旅行の味違った楽しみ方を披露しています。また、シネマフランスセ・ジャズライブでは、2015年にユニバーサルミュージックからデビューし、同年のジャズボーカル新人賞を受賞したボーカリスト、YURIEが登壇。若手ナンバーワンと言われるジャズボーカルで、フランスを舞台にしたスクリーンミュージックを歌いあげました。

旅行会社やツアーオペレーター、航空会社など11団体が12ブースを出展した「旅行ツアー相談、販売&観光案内」では、夏休みのフランス旅行をはじめとするツアーの相談・提案・商品販売や観光案内を実施。現地の最新情報なども提供しています。

提供しています。



ジャズボーカリストによるライブパフォーマンス

四国で「日台観光サミット」開催 今年で10回目、相互交流拡大策を採択

JATAと日本観光振興協会、台湾観光協会は5月31日から6月4日までの5日間にわたり、香川県と愛媛県で「第10回日台観光サミット in 四国 2017」を開催しました。同サミットには、日本側から186人、台湾側から90人、合計276人が参加しています。

6月1日に高松市の「かがわ国際会議場」で開かれた「日台観光サミット2017」では、(1)鉄道や温泉などに関する企業や地方都市間の相互交流促進、(2)双方方向でのクルーズ旅行の促進、(3)食の魅力の発信、(4)日台双方で予定されているスポーツイベントなどを

通じた若年層をはじめとする双方方向交流の促進、(5)双方方向交流700万人の実現などを軸とする議長総括が採択されました。

また、同日に西条市総合文化会館で開催された「日台鉄道観光フォーラム」では、東武トップアースの坂巻伸昭代表取締役社長がパネルディスカッション「さらなる鉄道観光交流の拡大に向けて」に登壇しています。

日台観光サミットは、2008年に第1回会議を台北市で開催。日本と台湾で交互に毎年開かれ、今年で10回目を迎えました。今回は、2018年に台中市で開催される予定です。

郡山市で第5回インバウンド商談会 7自治体と51事業者の58人が参加

JATAは6月1日、国土交通省東北運輸局、日本政府観光局、東北観光推進機構、福島県、宮城県の協力により、福島県郡山市で第5回JATAインバウンド商談会を開催しました。

昨年1年間における訪日外国人旅行者数も2400万人を超えるなど、引き続き順調に増加しているインバウンドへの取り組みは、「地方創生」にも資する地域活性化の新たな道筋として大きな注目を集めています。

しかし、その一方で、大都市圏への需要が集中していることにより、宿泊施設や貸切バスの不足など供給面での課題も浮き彫りにされてきていることから、JATA訪日旅行推進委員会はインバウンド需要の地域への分散促進を図るための活動を展開して

おり、JATAインバウンド商談会も今回で5回目の開催となりました。

商談会には、福島県と宮城県から7つの自治体と51の観光事業者の関係者など58人が参加し、JATA会員旅行会社12社の39人と活発な意見交換を行っています。

商談会の第1部では、長野県観光部の恵崎良太郎国際観光推進特別顧問が「長野県訪日教育旅行の取り組み」をテーマに、訪日教育旅行の意義や受入状況などについて講演。第2部では、福島県と宮城県の担当者が訪日外国人旅行者を誘致する施策などを発表し、旅行会社との質疑応答を通じて需要分散に向けて意見を交しました。第3部では、ホテルや旅館、観光施設などの事業者と旅行会社による個別商談会も実施され、旅行商品化を図るための実務的な情報交換も行われています。

商談会に参加した自治体や観光事業者からは「各地の取り組みや素材開発などを知ることができ、今後の活動への参考になった」といった声が寄せられたほか、JATA会員旅行会社からも「各県におけるインバウンドへの広域での取り組み状況を知ることができた」「新たな旅行素材の情報を収集できた」などの成果が報告されました。

今回のJATAインバウンド商談会は、今年12月に開催される予定です。

14社、1グループに29人の入社が決定 てるみくらぶ内定者対象就職面接会で

JATAと株式会社ジャタは4月8日、3月に破産申請した「てるみくらぶ」に入社予定だった内定取消者を対象とした就職面接会を実施しました。

この就職面接会は、トラベル懇話会など業界関係者の協力により実現したもので、男子12人・女子23人の合計35人が出席、JATA会員会社は40社が参加。5月10日現在の入社人数は29人(男子10人・女子19人)、採用会社数は14社、1グループとなりました。株式会社ジャタの遠藤洋二代表取締役は、「約8割の入社が決まり、安堵している」と話しています。

採用会社名と入社人数は、次の通り(順不同)。
プロコ・エアサービス=男子2人／阪神トラベル・インターナショナル=男子1人・女子1人／日本システム開発=男子1人／JTBグループ=男子1人・女子2人／プラスワン教育=男子1人／国際サービス・エージェンシー=男子1人・女子1人／シイ.エイ.エヌ.=男子1人／パーパスジャパン=女子2人／イオンコンパス=女子1人／名鉄観光サービス=男子1人・女子2人／阪急交通社=女子1人／日本旅行オーエムシートラベル=女子4人／東武トップツアーズ=男子1人・女子3人／エヌオーイー=女子1人／ワールド航空サービス=女子1人



旅行商品化へ実務的な情報交換が行われた個別商談会

JATA&ブランドUSA合同会議開催 訪米旅行者拡大へ取り組みを強化

JATA&ブランドUSA合同会議が6月5日、米国のワシントンD.C.コンベンションセンターで開かれ、日本側からは田端浩国土交通審議官、田中由紀観光庁国際観光課長、田川博己会長と志村格理事長をはじめJATA関係者、オブザーバーとして日本政府観光局(JNTO)松山良一理事長などが出席しました。また、米国側からブランドUSAのクリス・トンプソンCEOを代表に関係者が参加しました。会議では、2016年に開催された合同会議後のJATA&ブランドUSAの活動状況が話し合われたほか、日米間の観光交流についての意見交換などが行われています。



JATA&ブランドUSA合同会議の出席者ら。前列右から3人目が田川会長

米国を訪れる日本人旅行者数は今年に入ってから減少傾向を示しているものの、米国にとっては日本が引き続きトップ5に入る重要なマーケットの一つとなっており、会議では、双方の関係を総合的に強化していくことが確認されました。

また、JATAは日本人海外旅行者数を2000万人に拡大することを目指しており、JATAとブランドUSAによる協業の推進を通じたプロモーション活動を展開し、日本からの訪米旅行者を増加させるために様々な取り組みを行っていくことも確認されています。

さらに、会議では、①旅行会社の企画力向上に向けて、ブランドUSAとJATAによる共同研修旅行やテーマ別セミナーの実施、その他の各種教育プログラムの継続的な実施、②新規旅行商品の開発に向けた米国の新たなコンテンツ発掘とプロモーションの共同展開、③日本側の旅行会社による既存流通をベースとした各種プロモーション活動の検討、などを行っていくことも確認されました。

田川会長ら「IPW2017」に参加

JATA関係者らは、6月4日から7日までワシントンD.C.で開催された「IPW2017」に参加し、主要観光局への表敬や「ツーリズムEXPOジャパン」への出展促進活動などを行いました。

JATA東北支部、香港で誘致活動 交流拡大に向け航空会社など訪問

JATA東北支部は5月24日から27

日までの4日間にわたり、香港で双方向交流拡大に向けた旅行者誘致活動を行いました。

同支部の森吉弘支部長や仙台国際空港の岩井卓也代表取締役社長、東北観光推進機構の紺野純一専務理事推進本部部長ら8人の参加者は、東日本大震災の風評払拭や東北への国際航空路線の誘致を指して香港の観光関係機関や航空会社を訪問するとともに、日本人海外旅行者数の拡大に向けて同支部が実施する「仙台空港国際線利用促進キャンペーン」を関係者に紹介しています。

北海道支部

- 6月20日 海外旅行地域セミナー(北見地区)。
- 6月21日 海外旅行地域セミナー(旭川地区)。
- 6月24日 環境保全活動(外来植物駆除ウトナイ湖)。
- 7月5日 教育旅行委員会。

東北支部

- 6月7日 第2回幹事会。
- 6月8日 第2回海外旅行委員会「中央アジア・ウズベキスタン勉強会」。
- 6月14日 第1回LADY JATA委員会。
- 6月16日 第2回インバウンド委員会。
- 6月20日 第2回国内旅行委員会。
- 6月23日 第2回幹事会。

関東支部

- 6月15日 支部幹事会。

関西支部

- 6月3日～4日 第6回熊野古道「道普請」。
- 6月8日 インバウンドツーリズム委員会。
- 6月20日 消費者相談委員会。

中四国支部

- 6月2日 平成29年度第1回幹事会(伊予西条)白台鉄道観光フォーラム。
- 6月6日 広島空港CIQ研修(広島)。
- 6月19日 平成29年度第1回総務委員会。
- 6月23日 「えひめ旅フェスタ!2017」ワークショップ商談会意見交換会。
- 6月24日～25日 「えひめ旅フェスタ!2017」。

九州支部

- 6月3日 寺子屋JATA(1)。
- 6月10日 寺子屋JATA(2)。
- 6月13日 第1回幹事会・福岡。
- 6月21日 総務委員会。
- 6月26日 海外旅行委員会。
- 6月29日 消費者相談委員会。
- 6月29日 北九州空港利活用促進協議会総会(北九州市)。
- 7月5日 国内旅行委員会。
- 7月6日 実務委員会。

沖縄支部

- 6月21日 支部幹事会。